



ながおか

瑞穂町立瑞穂第二小学校
学校だより 第 2号
令和 6年 4月30日

そっとささやくその一言が……

副校長 太田 誠

先日、あるテレビ番組の中で、友達と仲良くしたい、優しくしてあげたい、助けてあげたいという気持ちがあるものの、その表現方法に悩み、実行に移すことができなかつたり、いくら良いことを考えても上手く外に出せなかつたりしている子供たちが多くなってきているということが取り上げられていました。そのニュースを見て、私の心に思い浮かんだのは、左の詩です。

**「こころ」は
だれにも見えないけれど
「こころづかい」は見える
「思い」は
見えないけれど
「思いやり」は だれにでも
見える**

この詩は、埼玉が生んだ詩人・宮澤章二の『行為の意味』から抜粋要約したフレーズです。気持ちは見えないけれど、行動は見える。逆に考えると、その行動や表情を見ると、その時の「こころ」や「思い」が見えるということ。だからこそ、それを行動に移していくことは、大切なのだと訴えているように感じます。

私は、本校に来て2年目となりますが、共に働く教職員から掛けられる一言に、たくさん救われてきたように思います。何か探し物をしていると「何かお探しですか。」少し元気がない時には、「大丈夫ですか。」そんな一言が、自然と出てくる職場で過ごせているのはとても幸せなことだと感じています。

また、二小の児童を思い返すと、時には友達と喧嘩もしますが、友達が困っていたらそっと声を掛ける姿、お腹が痛い友達を支えて保健室に連れて行ってあげる姿、6年生が、1年生と遊んであげたり、準備を手伝ったりする姿が見られ、「こころづかい」や「思いやり」が手に取るように伝わってきます。

相手の立場や思いを推し量ったり、相手のことを思ったりすることで、人と人はつながり、お互いが通じ合い絆を深めるのだと思います。また、相手を思いやってささやく一言は、心を温かくし、気持ちを楽にしてくれます。そして、気持ちが楽になったと感じた人は、同じように他の人の心を温かにし、その輪が次第に広がり、やがてそれは社会全体へ広がっていこうと考えます。

今、バリアフリーやユニバーサルデザインなどの言葉が当たり前ようになってきていますが、万人にとって使いやすかつたり、便利であつたりすることは、大事な「社会」の条件であると言えるでしょう。その根底には、一人ひとりのことを考え、思いやる気持ちがあふれる社会を構築しようとする人の優しさがそこにはあります。そのような社会を肌身で感じることで、子供たちは大人を信じ、人を大切に思い、充実した毎日を過ごせるのではないのでしょうか。そんな思いやりのあふれる学校を子供たちと保護者の皆様、地域の皆様と協力をして作っていきたいと思います。

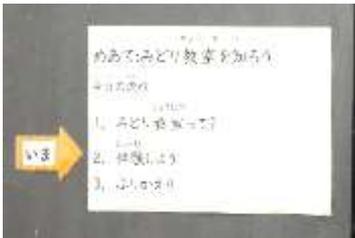


はたらく消防写生会

4月16日、2年生が消防写生会を行いました。福生消防署瑞穂出張所・瑞穂町第一消防分団から各1台のポンプ車が来ました。青空の下、桜の花びらが舞い散る中、赤い消防車がキラキラと光り輝き、児童もかっこいい消防車に目を輝かせていました。はじめに、火事が起こった時はどうするかや消火器の使い方などを教えてくださいました。その後、写生会がスタート。白い画用紙いっぱい描かれた赤い消防車は、どれも力作ばかりでした。消防隊や消防団員の方々が消防服を着てくださり、その姿を描いたり、「東京消防庁」と習っていない漢字を書いたり、「TOKYO FIRE DEPT」と英語で書いたりとおかしいところにこだわった作品となりました。



みどり教室の理解授業



4月19日、みどり教室の理解授業がありました。はじめに、みどり教室の先生からそこでどんなことを学んでいるのか説明があり、その後、学んでいることを実際に体験し、理解を深めました。黒板には今日の授業の流れが示され、児童にも分かるように、今どこまで学習が進んでいるかを視覚的に矢印で示したり、ビジョントレーニングのように、大きなモニターを使って、生き物を消したり、動かしたりして目の反射を鍛えたりする

ような取組でした。また質問に答える時には、先生が指名するまで答えてはいけないルールとし、問題毎にそのルールを守れたら、先生が「分からなくて考えている相手のことを思いやっている行動は素敵だね」と褒めて自己肯定感を高めていました。友達のことを知ることで、友達の良いところを見つけたり、苦手なところを手助けしたりできる思いやりのある児童になっていくのだと考えます。今後もこのような相手を思いやる取組を教育活動全体で行っていきます。



交通安全教室

4月19日、福生警察と安全協会の方に来ていただいて、交通安全教室を行いました。1・2年生は、説明を受けた後、校舎から出て、実際に学校前の横断歩道を使いながら、安全に歩行する方法を学びました。また3年生は、校庭の砂地に横断歩道



を描き、実際に自転車に乗って安全な乗り方を学びました。自転車に乗る前の点検の学習もしたので、学校でも繰り返し指導はしていきますが、ご家庭においても安全な歩行の仕方や自転車の乗り方について、お話いただけたらと思います。よろしくお願いします。

離任式

4月19日、離任式が行われました。久しぶりに離任された先生に会った子供たちは、笑顔が溢れ、先生方に思いのこもったお手紙を読んだり、花束を渡したりしました。離任された先生からは、二小で思い出に残ったことや、新しい学校でのこと、そして子供たちに「頑張れ」とのエールを贈っていただくと共に、保護者や地域の皆様への感謝の気持ちを伝えてくださいました。

最後に花道を通る先生方を見て、握手を求める子供がいたり、お礼の言葉を言ったり、涙をこらえ切れず泣き崩れる子供がいたり感動の中で、離任式が終わりました。

